

令和5年度 会員研修



ロータリーの職業奉仕

(職業奉仕とは何か)

(私たちはどう対処していけばいいのか)

令和6年4月4日

市原ロータリークラブ 研修委員会

ロータリーの使命:

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである

私たちはどのように対処していくべきか

ロータリーを知り・・・参加・実践すること

- 1) ロータリーの歴史を知ること
- 2) アーサー・F・シェルドンの職業奉仕理念を理解し、自分の職業で実践する。 He profits most who serves best
(最もよく奉仕した人が、最も多く報いられる)
- 3) 決議23-34号の内容を十分理解し、クラブと個人が奉仕活動で応用する。
- 4) 四つのテストを自営業で実践し。お客に信頼を得て、家業を成功させる。
- 5) 例会に出来るだけ参加し、親睦を図り、多くの会員から職業奉仕の話聞き、実践する。

なぜロータリークラブが創設されたのか

アメリカの19世紀の歴史

アメリカ資本主義の発達

西部開拓時代 (1865年~1890年)

西部インディアン戦争
強制移住合衆国と戦い敗れ、消滅

西部でゴールドラッシュに

南北戦争後、爆発的に工業化が進展
40年間に工業投資額1.2倍
工業生産額4倍

世界の工業国で1位となる

第一次大戦直前までのアメリカの労使関係

- ・ 深刻な労使対決 暗黒な社会=信用無き社会
組合組織
- 1897年 26万5000人
- 1900年 54万8000人
- 1902年 102万4000人
- 1904年 167万6000人

1905年 シカゴにロータリークラブ創設

1900年頃の社交界クラブ (300余り)

スポーツクラブ
産業界クラブ
労組組合クラブ
民族的背景・信仰クラブ
政治的クラブ
市民クラブ

ロータリークラブ ... 他と違うクラブを目指す
友情と信頼関係を築く(親睦)

一業一会員
毎週例会参加
物質的相互扶助(会員間の商業的助け合い)
ポール・ハリス氏の思いでクラブが創設された

ロータリーの生みの親



1891年アイオワ州立大学卒業

5年の苦行に旅立つ

(苦行で得たこと)

人の親切さ、友情、愛情
信用、忍耐、奉仕の心
援助、謙虚さ等の友愛

ポール・パーシー・ハリス (弁護士)

ロータリーの歴史

1902年3月 シカゴロータリークラブ創設

「親睦と相互扶助」

ドナルドカーター氏より市民への奉仕をと忠告を受ける

1907年 **ポールハリス、自薦で会長に就任・・・3つの施策**

①クラブに「世のため、人のために」の**社会奉仕理念**提唱

ポールハリス社会奉仕に変換

「我らの親睦のエネルギーを社会奉仕に」方向転換

②**クラブ数を拡大し、奉仕理念を世に広く提唱**

③**シカゴクラブ内の対立を打開し、クラブの充実**

クラブ内は親睦・互恵派と社会奉仕派対立激化対策

シェルドンの理論 (読む)

経営学の専門家であった。
如何に合理的な企業経営をして事業を発展させるかを世に教えることだけを抱いていた。

ロータリーに新しい経営学に基づく奉仕理念を提唱したのでその奉仕理念は、継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、即ち会社経営を経営学の実践だととらえて、原理原則に基づいた企業経営をすべきだと考え、継続的に利益をもたらす顧客を確保する方法を、如何に編み出すかを説いたのです。

もし、対社会的奉仕活動をしなかったら、自分の得た適正な利益の中から行えばいいのです。(個人奉仕)

「最もよく奉仕する者 最も多く報いられる」



アーサー・フレデリック・シェルドン

シカゴ大学 経営学部卒業 (サービス業専攻)

販売学

ビジネススクール開校 (1902年)

全米25,000名受講

修正資本主義の導入

シェルドンの活躍 (読む)

1910年 **第1回全米ロータリークラブ連合会講演** シカゴ
最初の綱領(目的)が採択された。第4条「進歩的専攻すべき商取引の推進」記された。
奉仕哲学に関するスピーチを行う
自分だけが儲けようという商売から脱して、他人に対してサービスすることが、事業を成功させる方法であると力説し、「He profits most who serves his fellows best (自分の事業に関係する人たちに、最も奉仕した人が、最も多く報いられる) と言う言葉を初めて披露した。聴衆会の数多い早話者の一単語者であった為、余り注目されなかった。

1911年 **第2回全米ロータリークラブ連合会講演** ポートランド (ジェフリー・ベリー代読)
「私の宣言」 He profits most who serves best と言うロータリー哲学は、自然の法則であり、宇宙の摂理にかなった法則です。絶対的なもの、絶対不変なもの、これがロータリーの職業奉仕理念であると述べて共に、一般的な哲学とロータリーの哲学との関連性について詳しく解説し、ロータリー哲学は、継続的に利益を得るための人間関係の基本的原則であると結論付けている。
奉仕哲学は、原因によって結果が証明できる科学であるという前提から、「奉仕Service」と「自我Self」と「利益Profit」の関係を明かに説明しています。奉仕の原理は継続的に利益を得るための人間関係の基本的な法則なのです。一元さんよりもリピーターを多く、何回も訪れ、又別の顧客を紹介してくれて、半永久的に店が栄えるのです。利他の心を持って他人の成功を願うことは、自らが成功への道歩んでいることです。

1921年第12回ロータリー国際大会 英国エディンバラ

「ロータリー哲学」発表

ロータリー哲学は、継続的に利益を得るための人間関係の基本的原則であると結論付けている職業奉仕とは、リピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法です。

イギリスやヨーロッパ大陸では、シェルドンが提唱した「profits」と言う言葉に対する反感が強く、毎年のモットを廃止しようとする提案が出された。シェルドンは「神」の存在を無視し、職業を天職として扱えず、**販売学の一分野として学問的に解析してきた。**

論点は「He profits most who serves best」というロータリーの奉仕哲学は、自然の法則であり、宇宙の摂理にかなった法則です。絶対的なもの、絶対不変なもの、これがロータリーの職業奉仕理念であると述べて共に、一般的な哲学とロータリーの奉仕哲学との関連性について詳しく解説し、ロータリーの奉仕哲学は、継続的に利益を得るための人間関係の基本的原則であると結論付けている。

シェルドンの奉仕理念を正しく知ることが、正しく職業奉仕を理解することにつながります。その考えは、企業経営によって利益を得ることは決して卑しいことではない。合法的でなかつたり、道徳的でない方法や、他人から批判を浴びる方法で一時的に大きな利益を上げたとしても、それは長続きはしません。シェルドンは自らの事業を継続的に発展させるための学問的な企業経営の理念と実践方法を考え出して、それをロータリーの職業奉仕理念として提唱したのです。

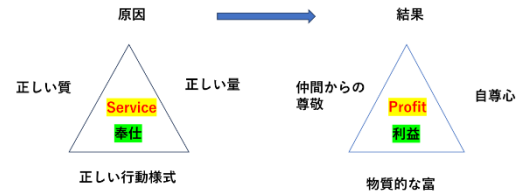
シェルドンの奉仕哲学

ロータリーの哲学は、サービスの哲学であると主張し、ロータリーのmottoを一体化して示しました。

1. Service Above Self
2. He Profits Most Who Serves Best

の中の、(Service)と(Self)と(Profits)の関係を明らかにすることで、ロータリーの哲学を明確にしようとする。

Service (奉仕) と profit (利益) の三角形



ロータリーの3項目の原理が体系化されました

第1、1915年 サンフランシスコ国際大会で、

ロータリー倫理訓を採択

ロータリアン個人倫理の確立

職業奉仕基準の確立

ロータリー倫理訓・・・ロータリー手引き書「職業宣言」82P 参照

第2、1922年 ロスアンゼルス国際大会で、

「RIの定款・細則及び標準クラブ定款」を採択

ロータリーの組織原理を確立

第3、1923年 セントルイス国際大会で

「決議23-34」採用

ロータリーの実践原理が確立

原理体系は決まったが、実践方法については具体的に何一つ決まっていなかった・・・4年間の思考

シェルドンの職業奉仕理念のまとめ (復習) 読上げ

自分が儲けるために職業についているという考えを捨てて、顧客の満足度を優先しつつ、自らの職業を通じて他人に奉仕をという考えで事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心を捉えて、リピーターとして何度も事業所を訪れたり、新規の顧客を紹介してくれるはず。その結果大きな利潤が得られると共に、その事業所は結果として、高い職業倫理を持っているはず。

職業奉仕は職業倫理を高揚することではなく、職業奉仕の実践が結果として高い職業倫理につながるのです。

1. Service Above Self
2. He Profits Most Who Serves Best

ロータリーの根本は、1. 利己と利他の心を上手く調和させる「超我的奉仕」という名の人生哲学です。それは、2. 実生活上、実に道理にかなった「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉を原理原則とした人生哲学です。

国際ロータリーの中央集権化と活動方針の変化

RIの問題点

- ・アメリカ流による管理運営
- ・職業奉仕理念の衰退とボランティア組織化
- ・理事会の権限強化・理事会決定の乱用・規定・審議会の無視不十分な情報公開
- ・RI理事会と事務局との意見不一致
- ・事務職員の完了か、肥大化
- ・資産運用に関する危機、軍事産業への投資
- ・イリノイ州法下における組織運営の問題点

世界中の会員が参加できる組織運営を考慮する必要がある

職業奉仕理念の衰退と変化 読上げ

職業に対する考え方の変化

- ・従来の職業感
- ・額に汗して働く・勤勉さ
- ・永年雇用・年功序列・会社への忠誠
- ・労使の目的意識の変化
- ・雇用体系の変化
- ・職業に関する目的の変化

一般市場の原理に任せ、倫理感による規制を排除されつつある

ロータリーの目的（綱領）

ロータリーの存在目的とロータリアンの責務が記した哲学的な声明です

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 1) 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 2) 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 3) ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 4) 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること（RI定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条）。

職業奉仕とは何か

ロータリー運動は倫理運動である

倫理とは「人が正しく歩む道」です。
人を泣かせるような行為をしてはいけない
人を欺いてもいけません
非人道的、非社会的行為をしてはいけません
世のため、人のために尽くしなさい

というのが倫理の教えです。

ロータリーの目的

第2項は ロータリーには職業奉仕という理念があります。
ロータリーの存在目的とロータリアンの責務が記した哲学的な生命です

- 1) 職業上の高い倫理基準を保ち
- 2) 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識して
- 3) 社会に奉仕する時には各自の職業を高潔なものにすること

を奨励し育むことが求められています。

私たちはどのように対処していくべきか

ロータリーを知り・・・実践する

- ① 例会に出席して職業奉仕を学び、実践する
職業奉仕はロータリーの「目的」の第2項を土台としており、次のことを奨励し、育むことが求められている。
 - * 商業上の高い倫理観
 - * 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識を持ち
 - * 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- ② 職業奉仕はどのように実践できるか（例）。
 - * 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学びあうこと。
 - * 地域社会での奉仕プロジェクトで職業奉仕スキルを活かすこと。
 - * 高潔な精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促すこと。
 - * 若者のキャリア目標を支援すること。
 - * 専門の能力の開発を奨励し、指導すること。

③ 決議「23-34号」の全ての奉仕活動の指針を理解し実践すること

1) ロータリーの奉仕理念

ロータリーは人生の哲学である。
自分の利益と他人の利益の矛盾を和らげようとする事。
その理念は

Service above self

(超我の奉仕)

He profits most who serves best

(より良い奉仕をした人により多く報いられる)

1932年 ハーバート・テラ(シカゴRC)がアルミニウム会社再建の
四つのテストを作成

⑤ 四つのテスト 「 倫取引の基準・経営管理の指針 」で職業奉仕の実践 言行はこれに照らしてから

- ・**真実か どうか**
(倫取引に於いて、真実の品質、納期、契約条件に嘘、偽りがないか)
- ・**みんなに公平か**
(すべての取引先に対して公正か)
- ・**好意と友情を深めるか**
(倫取引で店の信用を高め、良い人間関係を築き、取引先を壊やせるか)
- ・**みんなのためになるか どうか**
(倫取引で、全ての取引先が公正な利潤を得るか)

⑦ 職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。

- * 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業に職業奉仕入門について学び合う。
- * 奉仕の地域社会での奉仕プロジェクトで自分の職業スキルを生かす。
- * 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- * 若者のキャリア目標を支援する。
- * 専門能力の開発を奨励し、指導する。

職業奉仕に意欲と熱意を感じる人にとって、ロータリーほどその実践にふさわしい場はありません。

職業奉仕はロータリーの真髄であり、ロータリーを他の団体と分かつ要素でもあります。

1938年～1945年

1931年 恐慌悪化、27クラブ、2000名減少
1939年 第二次世界大戦勃発～1945年終結

・第二次世界大戦の

日本敗戦降伏

- ・枢軸国のロータリー離脱・・・危機起こる
- ・終戦後のロータリー運動の躍進
- ・RI脱退中も日本のロータリーは名称を変更して例会を継続

国際RC方向＝会員増強＋社会奉仕

・職業奉仕理念の変化と衰退・・・ボランティア化
5大奉仕の職業奉仕の消滅の危機

・国際ロータリーの巨大化

中央集権化と活動(ボランティア化)方針の
変化

・クラブの管理運営の変化(CLP)

クラブ例会の形骸化・ロータリアンの魅力低下

⑥ 職業奉仕を語るうえで理解しておかなければならないことがあります。

1) ロータリーの目的 (4項目) (1927年) 奉仕の理念を育むこと

クラブ奉仕
職業奉仕
社会奉仕
国際奉仕

ロータリーの目的 (綱領)

ロータリーの存在目的とロータリアンの義務が記した哲学的な声明です

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として**奉仕の理念を奨励し、これを實むこと**にある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 1) 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 2) 職業上の高い倫理基準を採り、役立つ仕事はすべて従事するものと認識し、**社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。**
- 3) ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 4) 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること (RI定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条)。

ロータリーの歴史(続)

1929年～1938年頃の状況

- 世界大恐慌による経済危機 ...1909年世界恐慌から
- ・政権交代による政治的危機 ...共和党から民主党へ
- ・経済政策の変更 ... ニューディール政策
- ・1937年「恐慌の中の恐慌」・・・最悪の状態
- ・軍事産業の積極的育成

これらの環境下で多くのクラブの消滅と会員数の減少を見たが、シェルドンの職業奉仕理念の実践により会員の経済的ダメージは少なかった。

1970年代後半から現在

- ・**経済システムの変化** 新資本主義の台頭
虚構的投資会社・・・職業倫理の低下、
- ・**職業奉仕理念の変化と衰退・・・ボランティア化**
- ・国際ロータリーの巨大化
中央集権化と活動(ボランティア化)方針の変化
- ・**クラブの管理運営の変化(CLP)**
クラブ例会の形骸化・ロータリアンの魅力低下

これからのロータリー

国際ロータリー

- 1 新RI長期計画(2010-2013)年度
- 2 国際ロータリーの使命 ... 人道的支援で世界平和の構築
- 3 国際ロータリーのビジョン
 - 3.1 標語 ... 超我の奉仕
 - 2 中核となる価値観
奉仕
親睦
多様性
高潔性
リーダーシップ
- 4 新しい優先項目
 - 4.1 クラブのサポートと強化 ...会員増強＋社会奉仕
 - 4.2 人道的奉仕の強化 ...弱者救済
 - 4.3 公共イメージと認知度の向上 ...地域の人と共同奉仕

本日の総まとめ

17世紀ごろからのアメリカの産業革命による資本家と労働者の悪い環境下で起こった資本主義の影響で労働争議や社会の無法化が助長される中、シカゴにロータリークラブが創設され、理念の良さから全米から、全世界とクラブが拡大がなされて、今日まで来ている。特質すべき理念を以下に記載しますので、理解し、実践してください。

ロータリアンの行動

奉仕哲学の運用 ⇒ 適正な利潤の確保 ⇒ ロータリーの目的への活用

・「超我の奉仕」 ……利他の心

ロータリーの第1標語 …… 奉仕哲学

心の持ち方

・「最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」

ロータリーの第2標語 …… 実践論的原則

超我奉仕を踏まえての職業奉仕の実践

今、ロータリアンは、世界の経済、社会の激動の中で、ロータリーの職業倫理を学び、毎日職業奉仕を行っているところです。

毎回の例会に出席して、会員の親睦を図りながら、他人の職業理念を学び、家業の永続を目標に活用し、励んで行きたいと思えます。

ロータリーの理念を抱き、一生懸命職業奉仕をすれば適正な利潤が多く得られ、社会奉仕に向けられます。日本、世界の抱えている社会問題が多々ありますので、参加しましょう。

日本が抱えている社会課題の一覧

- ・子どもの貧困
- ・災害の激甚化
- ・環境問題
- ・少子高齢化
- ・都市への一極集中／地方の過疎化
- ・情報リテラシーの格差
- ・生産性の低迷
- ・ジェンダー平等

世界各国が抱える社会問題とは？

- ・貧困
- ・教育格差
- ・水衛生
- ・医療・保健
- ・紛争・難民
- ・児童労働・人身売買
- ・人権・ジェンダーギャップ
- ・災害

終わりに

今後をどう生きていくのか、ロータリークラブの例会に参加して、会員からの情報を密に収集して、対処して行くことが求められていると思えます。

40年の長きに在籍し、親睦の図られた皆様方から、商売の理念を教わり、家業の繁栄をここまでやってこられました。感謝申し上げます。

拙い卓話ですが、お許してください。
ご静聴有難うございました。